



一般社団法人日本スクエアダンス協会東北統括支部
東北統括支部ニュース
<http://jsda-tohoku.miz.jp/>

発行人 水間清蔵
 発行所 一般社団法人
 日本スクエアダンス協会
 東北統括支部
 2017年(平成29年)1月1日発行
 通巻 第140号

謹賀新年

2017年(平成29年)は「第56回全日本スクエアダンスコンベンションin仙台」の年。東北での全国大会開催は7年ぶりで、全国著名コーラーのコールでレベル別に終日踊ることのできるまたとない機会です。

東北の各クラブから多くの会員が仙台に参集され、ダンスを楽しみそして仙台大会を成功させましょう。



松島湾の日の出

新年のご挨拶

東北統括支部長 水間 清蔵

あけましておめでとうございます。

東北統括支部会員の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も皆様と共にスクエアダンスの楽しさをより多くの方々に広めてまいりたいと思います。

今、私たちが楽しんでいるスクエアダンスは諸先輩の方々の弛まない普及推進の努力のおかげと心より敬服いたしております。現在の社会環境は、少子高齢化に伴い普及活動については、なかなか厳しい状況は否めません。S協機関紙でも紹介されていますが(明日への種蒔き・学校教育への取り組み・スクエアダンス体験会・教室の推進等)。スクエアダンスの楽しさをこれからも多くの方に楽しんでいただくように伝えていければとの想いは、各団体・スクエアダンス愛好者の願いではないでしょうか!。そんな願いを、東北支部一丸となって、スクエアダンスを多くの方々へ体験会の開催を最重要課題として取り組んで頂きますよう皆様のご支援、ご協力よ

ろしくお願い申し上げます。

また、今年第56回全日本スクエアダンスコンベンションin仙台が、平成29年8月18日～20日の三日間仙台国際ホテルで、七年ぶりに開催されます。これはスクエアダンス普及推進の絶好の機会でもあります。つきましては支部スクエアダンス愛好者の方々のご参加を賜りますようよろしくお願いいたします。

第56回全日本スクエアダンスコンベンションin仙台でお会いしましょう!

「広瀬川 心ときめく めぐり逢い

絆を結ぶ コンベンション」

スクエアダンスは友の輪 人の輪 ダンスの輪

訂正してお詫びします

前第139号2ページ「表2016年度期役員・監事」の記事における監事伊豆田様のお名前「哲哉」は「哲彌」の誤りでした。確認が不十分でした。

第42回東北スクエアダンスジャンボリー 好評裏に終了

11月12日、13日 秋田市で開催

第42回東北スクエアダンスジャンボリーを省みて

実行委員長 小田内 マサ子(秋田コールツフトスクエアーズ)

第42回東北スクエアダンスジャンボリーは、秋田県連絡協議会が主管となり、去る11月12日(土)～13日(日)に総勢162名の参加をいただき、秋田市青少年交流センター「ユースパル」において開催いたしました。ご参加頂いた仲間の皆様、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

今回のゲストには秋田県の会員の熱望で、神奈川県ドリームファンタジア鈴木孝子様をお迎えしました。参加者から素晴らしいエンターテイメントで楽しい夢の世界へ連れて行っていただいた、大変素晴らしかったと大好評でした。

省みますと、1年前にユースパルを予約し、実行委員会を立ち上げ、ユースパルの各会場や宿泊室を確認し、レストランとも打ち合わせをし準備をしまっていました。最近のジャンボリー参加人数は120名弱ですの

で、果たして120名を集められるか不安でした。蓋を開けてみると、低コストでルームチャージなしの個室やツインが好評で、申込初日午前中に個室・ツインが定員に達し、3人部屋或いは4人部屋に変更をお願いする電話をさせていただきました。又、期日前に定員に達し、締め切りのお葉書を統括支部各クラブにお出しし、ホームページにも載せて頂きました。宿泊はゲストの方を含め127名、日帰り(秋田の会員は日帰り参加も可としていました。)が35名でした。申込終盤に申込された方々のために、快く日帰りに切り替えて2部屋を空けてくれた秋田の会員に感謝したいと思います。

今回は4名の幹事と各クラブからのスタッフ合計11名の実行委員が水間統括支部長さんをはじめ、役員の方々のご支援を得て準備に当たってまいりました。いつものホテルではな

い公の会場でしたので、ホテルのようなサービスがなく、自分たちが行う仕事が多々ありましたが、事前に実行委員会を重ねた事で解決できました。秋田のスタッフの協力頑張りに感謝です。

今回のジャンボリーでは初めてベーシックをプログラムに取り入れしました。ダンス会場をB・MS、P・A2に分けました。参加者から参加しやすいプログラムで良かったと感想を頂きました。多くのダンサーが参加しやすいプログラムをと秋田方式を試みました。先輩ダンサーの優しい笑顔溢れるエスコートに初めて参加したダンサーから「とても楽しかった、嬉しかった」との感想がありました。踊ってくださった皆様、大成功の良いジャンボリーだったとメールをくださった皆様ありがとうございました。



第42回東北スクエアダンスジャンボリーを終えて

スクエアダンスクラブアゼリア 飯塚 千代子



秋も深まり紅葉も残り少なくなつた11月12、13日、秋田市の青少年交流センターで第42回東北スクエアダンスジャンボリーが開催されました。160名を超える参加者があり、ゲストコーラーの鈴木孝子さんを始め多彩なコーラー、キューアの方々において

いただきました。地元開催のため久しぶりに参加することにしたもの、私は楽しさ半分、不安半分という気持ちでした。

私はもともと耳の聞こえがよい方ではなく、年齢とともにコールが聴きとりにくくなり、ミスも多くなりました。ところが2か月ほど前にクラブのコーラーさんがFM送信機“聴こえるくん”を購入してくれました。イヤホンをつけてみると、その時々で聞こえ方

は少々違うのですが、なによりも聞きとれない不安から解放されて集中できるようになりました。

ジャンボリー一番のハプニングは、初日のラストのとき突然会場が暗くなり、天井一面に無数の青い星が現れたことではないでしょうか。皆の足も止まってしまいました。

この星空とイヤホンは、ジャンボリーの思い出として私の中にずっと残ると思います。少しだけ自信回復もできたので、来年の全日本コンベンションにもぜひ行ってみたい…とひそかに思ったりするこの頃です。

第42回東北スクエアダンスジャンボリーに参加して

秋田コールドフットスクエアーズ 三国 理恵



二日前には足早にやってきた冬の足音に心配された天気も、当日は午後から気持ちのいい日差しが差し込み、11月12、13日の日程で、第42回東北スクエアダンスジャンボリーが始まりました。

ゲストコーラーの鈴木孝子さんをお迎えして華やかな開幕となりました。受付を担当していたこともあり少し遅れて会場に入りましたが、何せ初めてのジャンボリー参加ですので、経験が3年未満の私は不安でいっぱいでした。手始めは、仲間のクラブ員と手を取り踊りの輪の中に入りましたが、耳慣れないことと会場の音響状況からコールが聴き取れず、戸惑いもありうまくいきませんでした。そんなとき、

男性の方が優しく「踊りましょうか」とお声をかけてくださいました。勇気を出して、「お願いします」といって一番前のセットで踊りました。このセットには男性が3人お入りになっていて、初心者でもとても踊りやすく、笑顔でエスコートしていただき、私も笑顔を返したつもりですが顔が引きつっていたかもしれません。あとで、この方たちは役員の方々とわかりビックリでした。

係りの仕事で時々会場から離れることもあり、戻ったらちょうど鈴木孝子さんのコールが聞こえました。高音の素晴らしさに聞きほれていたら突然低音の男性の声が聞こえ、アレッ!!どこかに男性コーラーさんがおられお二人でコールされているのかしら、としばらくキョロキョロしていたら、お一人で高音と低音を自在に使い分けられていることに気づいて驚きでした。曲目も我が青春時代の懐かしい曲が

次々と出てきて、踊れる幸せを感じつつも鈴木孝子さんのパフォーマンスに目を奪われ、次々と出てくる小物使いに見とれました。赤い帽子も素敵で、一瞬雰囲気が変わりました。ラストコールではステージから降りてセットの中に入られる見事さと、いま前の方からコールが聞こえていたと思いきや目の前に現れて、いつの間に?と驚く間もなく「見とれないでネ」とおっしゃるときにはもう足元が怪しくなっていて、皆で笑い合いました。薔薇の帽子にストールはなんとも素敵でした。

ラストコールで全員がセットを作ったときは場内が一様になり、色とりどりのコスチュームを揺らして波打つように動く様は、俯瞰してみたらどんなに綺麗だったろうと思いました。

各地からご参加くださった皆様方、初冬の秋田の二日間をお楽しみいただけたでしょうか。少しでもお心に留めていただければ嬉しいです。



↑ 第2会場でのダンスの様子



↑ ゲスト鈴木孝子さんのコール



↑ 第1会場でのダンスの様子



↑ セレモニー水間支部長挨拶(上)と役員(下)



↑ 会場の秋田青少年センター

第42回東北スクエアダンスジャンボリーに参加させていただいて

山形スクエアダンス愛好会 関沼 まつ江



今年の春山形スクエアダンス愛好会に入会して練習時間の少ない私に「今年、東北ジャンボリーが秋田であるから一緒に行きましょう。」と声をかけていただき、秋田へ!!が私の目標になりました。そして無謀にも今回参加させていただきました。出発前日、不安と緊張で参加申し込みをしなればよかったと後悔の念でいっぱいになっているとき、先輩の方から嬉しいお心づかいのメールが2件ありました。「明日受理票を忘れないように。」「貴方は大丈夫です、ベーシックをまずは楽しみましょう。」と。

会場は色とりどりで華やか。私も新しいコスチュームに初めてのパニエ。

固まっている私ですがコーラーさんとお話しさせていただくことができました。「僕、サークルを五つ潰したことがあります、コーラーとしてはまだまだです。」私、ドキッとしました。サークルが壊れても「あー失敗した。ごめんなさい。」となにげなく踊っていたのです。コーラーさんのご苦勞に気づかないでいました。またお会いできる時までにはちゃんと踊れるようになっていきたいです。未熟な私と踊っていただきありがとうございました。

夢中で踊るサークルの真ん中にいつの間にかゲストの鈴木孝子さんがいらっしやる…ビックリするやら、うれしいやら、次は別のサークルの真ん

中に… 楽しい！
楽しい！

楽しい時間はアツというまに過ぎて、足取り軽く、心も軽く、家路に向かうバスから見る月はスーパームーン。すてきな一句も聞かせてもらい幸せを感じます。

「来年はMSを・仙台全国コンベンションです。」といただいたメールには続きがありました。さあ大変だ、気持ちを込めて、イザ仙台目指して!!

大会の準備をしていただいた秋田の皆様、役員の皆様、本当にありがとうございます。

新規加盟クラブ紹介

スクエアダンスの楽しさをもう一度!!

仙台Zig・ZagS.D.C 湯村 かり子



最初に仙台Zig・ZagS.D.Cの名称の由来から紹介します。

「人生寄り道をしながらZig・

Zagに歩き(生き)、思いもよらないいろいろな人達との出逢いと感動に喜び、スクエアダンスを楽しみます。スクエアダンスにより人と人との繋がりや相手を思う優しさ親睦を大切に、スクエアダンスを生涯共に学ぶサークルでありたい。」ということを念頭に会員から名称を募集したところ一番人気はZig・Zagでした。ところが全国をみるとZig・Zagという愛称名のクラブがほかにあるため、頭に

「仙台」をつけクラブ名にしました。

クラブバッチも会員からの募集により決定しました。仙台Zig・Zagのメンバーはダンスが好きで楽しく踊りたいメンバーの集まりですが、パーティが苦手な方が多く、他のクラブのアニバーサリーへの参加が少ないので、これからダンスの楽しさをいろいろと味わって頂くようにと思っています。

当クラブは男性が15名、女性が22名と比較的男女のバランスが良いクラブだと思います。会員の中では、5～50年ぶりに踊った方や、体と脳のリハビリのため48年ぶりに踊り始めた方まで、例会では和気あいあいと踊っております。男性が比較的多いクラブですが、私が男性軍の前でウロウロして誘われるのを待っているの

ですが、なぜか素通りされます(笑)。長くダンスを踊っていくには、無理なく楽しくダンスを♪♪ そんな考えで例会を進めています。

一年一年、歳を重ねていくなかで、一つの趣味であるスクエアダンスを足、腰が立たなくなるまで続けていくためには、クラブ名の由来にもあるように相手を思う優しさ、思いやりのあるクラブとしてこれからも会員一同心を一つにして、無理なく、楽しく、長く踊っていきます。

最後に、クラブ結成から約5年たちますが、クラブとしてはまだ“ひよっこ”です。東北のスクエアダンスクラブ会員の皆様、ご指導とご鞭撻をよろしく願いいたします。

第51回東北スクエアダンス講習会を開催

東北統括支部の主要事業「東北スクエアダンス講習会」は今年度第51回目を迎え、去る7月23日、24日の二日間、仙台市旭ヶ丘市民センターで開催しました。

講習会はコーラーコースとダンサーコースがあります。コーラーコースは、これからコールを始めようとしている人が対象のA1、既にコールをしている人が対象のA2の二つのコースに分かれ、講師はA1コースが中川学氏

(仙台グリーンリーブズSDC)、A2コースが伊藤達彦氏(カントリースクエアーズSDC)で受講者はそれぞれ5名、9名でした。今回のダンサーコースのレベルはアドバンスで講師は水間いく子氏(仙台スウィートレディーズSDC)、受講者は58名でした。

各コースとも例年になく多くの会員が受講され、盛り上がった講習会となりました。



↑ A2コースで機材の説明をされる伊藤達彦講師



↑ A1コース会場での中川学講師と受講生

第51回東北スクエアダンス講習会を振り返って

仙台グリーンリーブズスクエアダンスクラブ 中川 学



今回は、僕自身が宮城南ブロック長となって初めての講習会企画となり、まわりのスタッフ及びボランティアの方々に支えられながら、何とか無事に終える事ができ、ほっとしております。参加人数も、受講生のみで72名となり、近年まれにみる盛況でした。これも、講師としてお呼びした伊藤達彦様や水間いく子様の魅力、水間東北統括支部支部長のご尽力、参加した受講生の東北のスクエアダンスを盛り上げていこうという熱意、スタッフやボランティアの方々のご協力によるものと心より感謝したい

と思います。有難うございました。

講習会の内容としては、僕自身がコーラーA1コースの講師を担当した事もあり、伊藤様(コーラーA2)、水間様(ダンサー)のコースをほとんど拝見する事ができなかったので、A1コースに関してのみ、書かせて頂きます。

A1コースの受講生5名は非常に熱心で、僕の言う事を一つも逃すまいと真剣に僕と向き合ってくれたのではないかと思います。その甲斐あってか、はたまた今回の受講生全員が非常に優秀であったためか分かりませんが、見学に来られたA2コースの講師伊藤達彦様及びA2コースの方々より、心よりのお褒めの言葉を頂けるまでのコールができま

した。僕が教えた事はちょっとだけ、『リズムを大切にしたらコールをしましょう。』、『コールに愛をこめましょう。』、『無理せず、背伸びをしない。』、『いっぱいダンスを踊りましょう。』、『変顔の練習』、ほんとにこれだけなのです。今回、受講された方々は、教えた事を基に、良いコーラー、良い指導者となり、今後の東北を色々な形で盛り上げる活躍をして頂けるものと心より期待しています。僕自身も受講生の皆様に遅れをとらないよう、また良いお手本であり続けられるよう、より一層努力をしようと考えさせられる良い刺激を頂きました。次に受講生の皆様と会う機会が今から楽しみです。色々なところでお会いした時は、是非、お声をかけて頂ければと思います。

(出しそびれた)『師匠』への手紙

仙台スクエアダンス愛好会(アグリーダックス) 相馬 直明

このたびはA2コースの講習ご指導有難うございました。この講習を受けて自分の視野は360度を超えて大きく広がったような気が致しております。これまでは自らの好奇心の赴くままに試行錯誤を重ねながら勉強を続けて参りました。一方、ビギナーへの指導などは、ある程度の年季が入れば片手間にできる物と高を括っておりました。しかし、今回の受講を通して、ある重要な視点が欠落していたことを教えて頂きました。それは、ビギナーに喜んで留まって貰うための具体的、合理的、かつ綿密な仕組みをあらかじめ作っておかなければならないということです。そのための大まかなカリキュラムなどは当然各クラブにあると思うのですが、特に初めて来て頂いたビギナーへの接し方が大切なようです。かつてはスパルタ式で牽引することのできたSD発展期ならいざ知らず、娯楽の多様化や、何と云っても、いやドレカといったらショーシコーレーカなどにより新たなる挑戦期に入ったともいえる現代において、ビギナーは大切に、大切にお迎えすべきお客様です。自分自身がビギナーであった頃を思えば当然解りそうなことですが、ビギナーは、何かと不安になりがち、孤立しがち、飽きがち、そして諦めがちです。それらを防ぐためには、メンバー同士が協力し合って、十分に低いハードルから気楽に楽しく踊って貰い、毎回終わるたびにカタルシスにも似た心地よい充実感を味わって貰う(そして気が付いた頃にはこの素晴らしくも摩訶不思議な

世界にどっぴりと漬かってしまい、抜けるに抜けられなくなってしまう…ようにする)といった(至極当たり前の)ことが大切です。ただ、そのための緻密なノウハウが欠けていたのですが、このたびの講習で様々なヒント、たとえばスタートを感じさせないスタート方法や、また技術的にはフラダンス風?ダンスによる始まり、エルボースウィングの取り入れなど、その他種々のアイデアを惜しげもなく教えて頂きました。改めてお礼申し上げます。

講習は緊張もありましたが和気藹々とした楽しいものでした。受講中に笑い上戸と化してしまった○子さんは旧交のヨシミを誇るかのように「たっちゃん、たっちゃん…」と気安く呼んでおりましたが、畏れ多くも初対面にして青二才の自分がまさかそう呼ぶわけにもいかず、さりとして「たつにいさん」とお呼びするのもイカガナモノカ…などと思案しているうちにお声掛けもできず、すべてが終わってしまいました。しかし呼称がないのは機械と違って不便なので、支障のないことを前提に(仮称)『師匠』とお呼びし、以後勝手に私淑しております。次回お会いしたときは(達人の)『たっちゃん』とお呼びしても宜しいでしょうか。

ところで『師匠』は余談の折に、「…つまるどころ人間性の問題だ…」といったニュアンスのお言葉をさりげなく仰っていたように記憶しております。そのとき『ジコチュー不安神経症』の私は人知れず冷や汗タラリの心境でした…。確かに『師匠』は、素

晴らしい人間性の持ち主です。高いモラルインテリジェンスと公平なマナザシ。反骨の気概を秘めながらも人情の



機微に通暁した朝モヤのような巧まざるユーモヤと、冗談とは決して言えない巧みなジョーク。それらを洗練させ、鍛え上げた挙句の、天性か?とも見紛うMCとしての才能。そんな才能に溺れることのない、緻密にして周到なご準備。さらにスクエアダンス界の行く末を案じては、『全日空』で飛び回ってどこまでも人助けに粉骨砕身しておられるお姿…。そんな高みを上げばトートシ…と自ずから合掌してしまう私です。

一方自分自身はと言うと、コーラーとしての初期の試練をなんとか通過してからというもの、その後幾多の骨身に應える忠告をも「われ関節炎」(訳:我関せず焉)とばかりに受け流して、自己流を貫いてきたような気が致します。あれから四十年…いやサバを読んでも十年そこそこでしたが、私としてはクラブへの暗黙的半強制的自発的忠誠への順応も含めて長足の進歩を遂げました。しかしながら当方、いまだにまともな挨拶すらできず、義理は垣根の欠き通し…といった類いの未熟者であることを、ここに改めて慙愧の念と共に白状致します。最後に『師匠』の益々のご活躍と、(できれば)金銭的援助も厭わぬ人助けにより、SD界の希望の星となられんことを祈念致します。(SDジャングルの王者『たっちゃん』万歳!)

第51回東北スクエアダンス講習会ダンサーコースに参加して

大河原チェリービーンズSDC 齋藤 郁子



前日までの暑さが嘘のような最高気温22℃という絶好のダンス日和の7月23日～24日に講習会に参加してきました。

私は、スクエアダンスを始めたのは20年ほど前になりますが、仕事と介護などにより十数年間クラブの例会やパーティなどに参加することができない状況が続きました。ダンスレベルもプラスまででしたが、退職を控えスクエアダンスをもう一度してみたいと思っていた2年前にペッパーミントのアドバンス講習会参加の機会をいただきました。講習は終了しましたが、パーティなどでアドバンスを踊る

自信はありませんでした。

そのような時に東北スクエアダンス講習会ダンサーコースでアドバンスの研修があることを知り、パーティで踊れるダンサーを目指そうと思い、さっそく申し込みました。

7月23日(1日目)、顔見知りの方々が受付にいて一安心したものの、更衣室では知らない顔・顔・顔……チョット勢い込んできたけれど不安がよぎりました。

開講式の後にコース別研修が行われました。ダンサーコースの講師は水間いく子氏で、早速カップルを作るように言われ、58人で大きな

てください。」と言われましたが、研修が進むにつれ「なるほど」「目から鱗だわ」と、その意味を理解することができました。

7月24日(2日目)は、9時30分から全体講義、10時からコース別研修が行われました。私も2日目で緊張もほぐれ、相手の動きを見て踊る余裕もでてきたように感じました。

水間いく子氏は研修期間中「目を見て、相手の目を見て」と何度も言われましたが、最初の頃は相手を見る余裕もなく、また何のために目を見るのか解りませんでした。研修を受けているうちに、スクエアダンスは全体のタイミングが重要なんだと気づくことができました。

この二日間、大変充実した研修を受けることができ、今後は、一緒に踊って楽しいといわれるようなダンサーを目指したいと思います。最後に、講師の水間いく子氏並びに役員の方々にご指導いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

サークルを作ってからのご挨拶、緊張がほぐれるような始まりでした。その後研修が始まりました。水間いく子氏は「コーラーによってコールの解釈が違うので今日は私の解釈に従っ



ダンサーコース会場での水間いく子講師とダンサー

県支部だより 秋田



9年ぶりのジャンボリーで心が一つに!!

秋田県連絡協議会会長 小田内マサ子

9年ぶりに第42回東北スクエアダンスジャンボリーは秋田の担当になりました。

ここ数年参加者が120名弱のこともあり、ルームチャージ無しで個室及びツインの宿泊室を有するユースパルが会場の候補になり、1年前に会場予約をし、統括支部長と秋田の4クラブに報告しました。ゲストは鈴木孝子氏

と皆が熱望、統括支部長にお願いしました。3月に実行委員会を立ち上げ、本番までに6回の実行委員会を重ね意見を出し合い、確認をしながら当日を迎えました。

120名の予定が日帰り参加を含め162名のご参加を得、大盛況に!! 秋田の会員は一致団結し、フル回転で頑張りました。13日終了後は皆充実感と、無事終えた安堵感で、笑顔が溢れていました。

この余韻を12月18日に秋田テルサで行われる合同クリスマス会に持ち込み、又心の一つに楽しい1日をとっています。

東北スタッフ研修会を実施

テーマは「目指せ、体験会10万人」
東北各地から52名が参加

11月27日(日)13時30分から約2時間にわたり、仙台市黒松市民センターにおいて2016年東北スタッフ研修会を実施しました。

講師に一般社団法人日本スクエアダンス協会の副会長普及特別委員会委員長中村禮子氏、地域普及小委員会委員長辻田満氏のお二人をお迎えし、「スクエアダンスの新しい普及方策：目指せ体験会10万人」をテーマに講話をしていただきました。

会員増強に取り組むクラブ関係者にとって、経験豊富で実例に富むお二人のお話はとても参考になることが多く、参加者一同充実した時間を過ごす事ができました。

会場は仙台でしたが、仙台はもとより東北の各地から多くのスクエアダンス愛好者が受講され、聴講者会員数は52名でした。

(聴講者の寄稿文は、次ページに掲載しています。)



講師の左：辻田満氏、右：中村禮子氏



会場の仙台市黒松市民センター会議室は聴講者で満席になりました

県支部だより 青森



青森のスクエア事情

青森ゆララスクエアダンスクラブ 石館 愛子

今年は八戸ホワイトホースと弘前さくらでアニバーサリーがありました。12月には毎年恒例のモッキンバードのクリスマス会が開催されます。このクリスマス会には県内のダンサーが集結し、交流会のような役目を果たしています。お久しぶりのハグから始まって、別世界の一日を楽しみます。

青森では県外のパーティに行く人がだいたい決まっています、まだまだ自分のサークル内でスクエアを楽しんでいる人が多いです。青森はどこに行くにも遠いこと、遠慮がちの方も多きことなどで県外のパーティへの参加者がなかなか増えません。県内でのパーティには多くの方が参加し、楽しめるように各クラブで会員をお誘いし合っています。まずは地元のパーティに参加して

パーティの醍醐味を体験し、ダンスに自信を付けて欲しいです。そしてパーティの中でお知り合いもできて、少しずつ遠方のパーティにも足を延ばして個性豊かないろいろなコーラーさんの下でダンスの世界を広げてくれたら嬉しいのですが。

またもう一つの課題は今後どのようにして新しく会員を増やしていくかです。今までは現会員の方がスクエアの魅力を発信することでそのお友達が新たに会員になって発展してきました。しかしやはりお仕事やご家族の事情などで時間を作るのが難しい方も多く、新しい会員が中々増えていないのが現状です。一方で現会員の方も忙しく過ごしている合間を縫って来てくれてクラブを盛り上げてくれます。現会員の方の生き生きとした姿を体験会などで見てスクエアの楽しさを感じてくれたらと思います。

厳冬期に入り、ゆララ夜の部は2か月程休会になります。ゆララでは春から夜の部のビギナーコースが始まります。ビギナーさんが増えてくれるよう魅力ある体験会の計画を練りながら春を待ちます。

東北スクエアダンス スタッフ研修会に参加して

福島スクエアダンスクラブ 岩野 龍彦



去る11月27日、「スクエアダンスの新しい普及方策」をテーマに研修会が開催されました。

定員を超える参加者で盛況の内に始まり、講師の中村禮子S協副会長が、テーマに沿った実行計画の概要について説明されました。特に初心者講習会の前にハードルを下げて、体験会を通してSDの楽しさを知ってもらう取り組みに重点を置いているとの事でした。そのための各種資料を今期までにPCにアップした

いと意向なので楽しみです。

次に辻田満S協参与から、本題についてのヒントが軽妙な語り口で述べられ、ついつい引き込まれてしまいました。主な内容を箇条書きで記します。

・スクエアダンスの原点としての特徴

- ①変化と意外性
- ②コーラーの存在
- ③仲間を増やす喜び

・また、原点2となる特徴として

- ④S協は法人格を有し、公共性と社会貢献の義務を負う

・これらのことを念頭に置いて、今後の方策は

- ①元々若者の踊りであることと、売りは何かを明確にすること
- 踊る世代(市場)で変える必要あり

「ジュニア」マスゲーム、集団行動、学習活動など

「ミドル」男女共同、連帯感、仲間作り、コスチュームなど

「シニア」ボケ防止、脳機能活性化

- ②一人ではできないので、どこ組むか、何と組むかを探す

- ③今までの延長線ではなく、新しいやり方を考える。

- ④普及サポーター(コーラーまでのスキルは要求しない)を育成する

- ⑤メーリングリストの活用

以上まとまりのないレポートに「なりましたが、我が福島県でもこれらのことを参考に、皆さんの協力をいただいて、はやく体験会、初心者講習会などを開催できるようにしたいと思います。

盛岡キャラメイツSDC 佐々木 傳

去る11月27日(日)東北統括支部主催のスタッフ研修会が開催されました。当日午前中の県支部代表幹事会に引き続き、各県代表と仙台・山形の各クラブから参加を頂きました。研修テーマは「スクエアダンスの新しい普及方策」。講師には、SD協会副会長・普及特別委員長中村禮子氏、SD協会参与・地域普及小委員長辻田満氏のお二人を迎え、約2時間熱き講義を受け52名の参加者は、熱心にメモするなど真剣さを感じる研修会でした。

講師から、全国の会員状況で初心者講習会など、会員は増えてはいるが更新しない方や高齢化で体調や夜間危ないからと退会され、横ばいで推移し会員拡大になっていない。東北全体(含フリー)を見ても減少傾向となって増えてない。そこ

でS協の中期計画として新しい普及方策「体験者10万人運動」を提唱し、普及特別委員会は「目指せ体験者10万人」運動を実施。膝を交えて意見交換。東北は6つ目であと4月に九州でと全国展開中。

パンフ・倫理綱領はじめ体験会に参考・利活用出来るマニュアル教材・音源などを準備中。各クラブでは初心者講習会とは別に、是非「体験会」を開き一般市民にSDを周知させ体験させてほしい。一般社団法人となり法人格を持ったことから公益に相応しい活動として自分たちだけで無く、広く国民に知ってもらい楽しんで頂き社会的役割を果たしながら愛好者の輪を大きくする目的です。

体験会は工夫し色々なやり方がある。まずSDを知って頂き、体験をして楽しんで頂くことが大切。体験者を増やす事がひいては会員拡大に繋がる。体験会では参加者の状況により弾力的に考え、初歩的な

ベーシックで楽しんで頂く様にセレクトする。また子供(ジュニア)、青年層(ミドル)、高齢者(シニア)など年齢層に



よってSDへの誘い説明も異ってくる。これを機に東北として体験会の取組みを強化し会員拡大に邁進しましょう。そして実施報告書を支部長宛にお願いします。また、東北では地域普及委員(普及サポーター)が僅か2名だけ。進んで登録願いたい。

70年前にニプロ氏にFD・SDが紹介された以降の歴史に触れながら青年層、コーラーの少なさなど絶滅危惧種に例えてユーモア交えての熱弁講義でした。時間が足りなかったが、とても参加者が前向きに、普及・体験に掛ける熱い想いを感じ得たスタッフ研修会でした。

東北統括支部・県支部事業、クラブパーティ情報

今後おおよそ1年間に開催予定の東北統括支部事業(★)、県支部事業(☆)、クラブアニバーサリーパーティ情報(○)を掲載します。(クラブパーティはアニバーサリーパーティに限らせていただきます。)

以下の次年度東北統括支部事業(★)は最終的な決定をみていませんが、各クラブの次年度行事計画策定の参考にするため予定として掲載します。諸事情により日程、会場の変更もありますので、ご了承ください。

なお、来年度の全日本SDコンベンションは東北統括支部が主管となり仙台で開催しますので、東北SDジャンボリーは行われません。

★第52回東北スクエアダンス講習会

【開催日】2017/7/1(土)～2(日) 【会場】リンクモア平安閣市民ホール(青森市民ホール)

★第38回東北ラウンドダンス講習会

【開催日】2017/10/22(日) 【会場】仙台市内

★平成29年度スタッフ研修会

【開催日】2017/11/5(日) 【会場】花巻市内

☆岩手県スクエアダンス研修会

【開催日】2017/6/10(土)10:00～15:30 【会場】水沢翠明荘

【講師】佐藤英俊氏(シュガーメイトスクエアーズ)

【参加費】3,000円(昼食含む) 【問合せ先】佐藤ヨシ子 Tel/Fax: 0197-33-2667

○弘前さくら創立9周年アニバーサリー

【開催日】2017/4/23(日) 【会場】弘前市内

【プログラム】MS・PLUS

【ゲスト】水間いく子氏(仙台スウィートレディースSDC)、水間清蔵氏(SDCスウィートメモリーズ)、

【参加費】2,000円(昼食各自) 【問合せ先】福井深雪 Tel: 090-2986-1104

○第20回スウィートファミリーアニバーサリー

【開催日】2017/5/21(日) 【会場】日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)

【プログラム】MS(☆P・☆A・☆C1)

【ゲスト】田島治氏(鎌倉ビーチ&スターズ)、大上徹氏(城東SDC)、

【参加費】3,000円(昼食含む) 【問合せ先】水間清蔵&いく子 Tel/Fax: 022-378-3071

編集人の窓

▼今号は、支部事業に参加された多くの方々の寄稿を掲載しましたので10ページになりました。それぞれに読みごたえがあります。仲間の考え・感想を知ることができるのは楽しいものです。とくにご覧ください。▼2016年東北SDジャンボリーin秋田への参加者数は、小田内実行委員長が別項で述べられているように、ここ数年の例をを大幅に上回り、開催1か月前には定員に達して申し込みを締め切るという盛況でした。▼小田内さんは要因についても述べられていますが、いずれも担当された秋田県支部の取り組みが実を結んだものでしょう。魅力ある内容をできるだけ安く提供し、情報を的確に発信することが大切なのです。このことは今年2017年開催の仙台コンベンションでも言えることと思います。▼この秋田ジャンボリーに、筆者は他の仲間とともに仙台からバスで往復し

参加してきました。往路は東北・秋田自動車道、復路は湯沢横手道路、国道13・108号経由で、紅葉はやや盛りを過ぎていました。復路ではリーダーの発案で奥羽本線十文字駅近くの「横手増田伝統的建造物群保存地区」を散策してきました。▼主要街道である羽州街道からは少し外れているものの地方交通の要衝で、江戸期寛永年間から秋田藩南部の流通の拠点となった地といえます。明治以降も生糸、葉タバコ、酒造業で発展し、保存・公開されている建物の内部は当時の隆盛を物語る構造と内装でした。▼地方には知られざる(知っていない)歴史遺産がたくさん残っているのです。ダンスも楽しみましたが、今回のジャンボリー行では、思いがけない所に立ち寄ることができ、印象に残るツアーになりました。これもSDの楽しみ方の一つでしょう。(SDCスウィートメモリーズ 赤塚吉雄 yoshioakatsuka@gmail.com)